

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年2月21日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691500245
法人名	医療法人誠心会
事業所名	グループホーム養母の里
所在地	鹿児島県日置市東市来町長里5202-1 (電話) 099-274-7333
自己評価作成日	令和2年1月24日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和2年2月14日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・入居様が家庭的な雰囲気の中で日常生活を送れるように努めている  
 ・地域の食材を用いた職員による手作りの食事を提供している  
 ・入居様が積極的に地域行事に参加出来るように、日頃から地域の自治会長、民生委員等とのコミュニケーションを図っている

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

法人が作成した「日本一やさしい心の10カ条」とグループホーム全体の理念、養母の里独自の理念である「養母の里6つの心」を掲げ、毎朝唱和することで意識付けを図っている。特に「ありがとう」という感謝の心と、「私がします」という積極的な心、「おつかれさまです」という思いやりの心を大切に考えており、利用者と職員を分け隔てすることなく支援できる体制作り日々努力している。

毎年、事業所の目の前に広がる田んぼで行われる鬼火焚きを見物したり、地域の敬老会に参加するほか、事業所主催のそーめん流しや消防訓練に地域住民の参加が得られるなど、相互に交流している。また、日常的に散歩に出かけた際に、地域住民と挨拶を交わしたり、野菜を差し入れてくれる地域の方や、「遊びに来たよ」と立ち寄ってくれる方がいるなど、地域住民とは良好な関係を築いている。

年2回、夜間想定を含む災害訓練を、隣接する法人の小規模多機能ホームと共同で地域住民の参加と協力をもらいながら実施している。地域住民とは、地域行事や事業所行事で関係性ができていることもあり、主に、玄関から屋外への誘導や避難場所での見守りをお願いし実施することができた。また、「災害防止対策委員会」を定期的に実施し、避難経路の確認や災害時の点検項目の確認のほか、水害時の対策も入念に計画しており、万一来に備えている。備蓄として、飲料水や食料を約3日分程度備え、ヘルメットや懐中電灯、非常持ち出し袋等の備品も、取り出しやすい場所に保管している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念をかくユニットに貼ってお り意識しながら仕事に取り組む ことが出来る	法人全体の理念のほか、事業所独自の 理念も掲げ、毎朝唱和をして意識付け を図っている。理念にある「感謝の 心」は利用者のみならず、職員に対し ての思い、でもあり、大切にしてい る。日々、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし 続けられるよう、事業所自体が地域の 一員として日常的に交流している	ソーメン流しなどの行事に地域 の方も参加していただき交流が ある 消防訓練にも参加していただき 交流を深めている	自治会に加入し、回覧板により地域 行事の案内をもらい、敬老会や鬼火焚き 等の行事に参加するほか、事業所主催 のソーメン流しや災害訓練に地域住民 に参加してもらうなど、相互に交流し ている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げてい る認知症の人の理解や支援の方法を、地 域の人々に向けて生かしている	部内研修で認知症及び認知症ケ アについて研修を行い地域交流 や行事参加等で認知症高齢者へ の支援や理解を深めるよう努め ている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービ スの実際、評価への取り組み状況等につ いて報告や話し合いを行い、そこでの意 見をサービス向上に活かしている	年に6回運営推進会議を開催し、 民生委員、入所者様のご家族の 意見をいただきサービス向上に 努めている。	会議には、家族や公民館長、民生委 員、行政職員等が参加し、事業所の活 動内容の報告や意見交換をしている。 多くの家族に会に参加してもらえ るよう、家族会や災害訓練等の活動 行事に合わせて開催している。地 域の実情や介護方法等の助言をサ ービス向上に反映させている。	

市 様		項 目	自己評価	外部評価	
自己評価	外部評価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険課、地域包括支援センターとの密接な連携を図り、協力関係を保てるように努めている。 市主催の研修会にも積極的に参加している。	運営推進会議や研修会、実地指導等を通じて意見交換するほか、日常の業務で疑問が生じた際は、電話で助言を求めている。また、日置市のグループホーム協議会主催の研修会でも顔を合わせるなど、意見交換する機会は多くある。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束マニュアルを策定し、利用者様本位のサービスが行えるよう質の向上を目指している。 身体拘束防止委員会を設けてあり、常に見直し等行い、身体拘束の無いケアを目指している。	身体拘束に関する研修を年2回実施すると共に、毎月の職員会議で身体拘束廃止委員会を開催し、注意喚起している。「ちょっと待って」等の声かけもスピーチロックに該当するため、職員全員が言葉を選びながら声をかけるようにしている。施錠しない自由な暮らしを支援するため、さり気ない見守りを徹底させている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修や勉強会を実施 入居者様の身体状況を把握できる様にし、見過ごさないことが職員全員の共通意識となっている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	内部研修を行い、職員全員の理解に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項の説明を入念に行い、相互間で誤解の無いよう十分に配慮している (入居相談、申し込み、入居前後)</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時の名簿記入時に意見欄を設け、常に意見要望をいただけるよう取り組みを行っている。 アンケート箱を設置している</p>	<p>家族会で意見交換を行うほか、面会に来られた際は、職員が身体状況や活動内容等、近況を報告し家族の意見を伺っている。また、面会簿に意見や感想を記入する項目を入れたり、苦情の相談窓口を玄関に掲示することで、常時意見や苦情を表せる場があることを伝えている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に一度のミーティング時に提言、意見を聞き運営に反映させている。また、毎朝朝礼後にユニット内でミーティングを行い情報共有を図っている。</p>	<p>年に1回の個別面談や申し送り時、職員会議等で意見を聞くほか、懇親会を開くなど個々の職員が自由に意見を言えるよう工夫している。出された意見や提案については、十分に話し合った上で、業務の効率化や今後の支援の改善につなげている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員個々の能力に見合った給与体系を策定している。 また職員の要望等を聞き職場環境の整備に努めている</p>		

自己評価		外部評価			
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>他事行書より講師を呼び内部研修として技術の向上等に努めている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修や職員応援、イベント等を通じ交流を図っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15	○初 サービスの	○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	他施設からの入所時は入所前に、ご本人、ご家族、CM等と意見交換している		
16	○初期 サービスの	○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設内を見学していただいたり、ご本人、ご家族の要望、対応等を協議している		
17	○初期 サービスの	○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	一通りのサービスではなく、多角的なサービス提供を検討し、入居者様に最適なサービスができる様に努めている		
18	○本人 職員は	○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員と入居者様が共同して取り組んだり行事を通じて一緒に楽しめる場の提供に努めている		

自己評価		外部評価			
自己評価	外部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		19	○本人職員は	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族、ご本人が安心して生活できるように支援、提言、報告するよう努めている
20	○本人が	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	気軽に知人、友人の方々が面会や一緒に外出できる雰囲気作りに努めている	知人が面会に来られた際は、居室でゆっくり過ごしてもらえるよう、お茶やお菓子を用意している。馴染みの理髪店に出かけたり、家族の協力をもらい自宅に帰る機会や、職員がお墓参りに連れて行くなど、馴染みの関係が途切れないよう支援している。	
21	○利用者同	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	会話やレクリエーション等のきっかけ作りをすることで入居者様同士の交流を図っている		
22	○サービス	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所されてからも随時状況を伺う等している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人にとって快適な環境で過ごしていただけるようにご家族とも相談するよう努めている	家族からの情報を参考に生活歴を把握し、表情やしぐさ等、些細なことからも気付けるよう努めている。入居前は必ず面談に出向き、担当のケアマネジャーや病院の相談員等関係者から詳細な情報をもらいアセスメントに反映させている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族からお話を聞くなどしている。場合によっては住居を訪問し、これからのサービス提供に活かせるよう努めている			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	自宅での生活リズムや習慣を大切にしつつ、集団生活の場で発揮できる能力を分析し、把握している			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族の意見、要望や職員同士のミーティングを通じそれぞれの入居者様の現状に即した的確な介護計画を策定している	利用者や家族の意向を基に、毎月の職員会議でのカンファレンスや定期モニタリングのほか、主治医や看護師の意見も参考にしてケアプランを作成している。また、思いや意向の変化を「個別ノート」に記入して把握すると共に、身体状況に変化が見られた際は、速やかにプランを見直している。		



自己評価		外部評価			
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護記録や職員間の引き継ぎを的確に行い、入居者様の情報の共有化を図り創意工夫しながら介護を行うよう努めている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご本人の状況、ご家族との話し合いにより同一事業所内や他の社会資源を検討し、サービスが受けられるように柔軟に対応する</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>ご本人の意向や必要性に応じて民生委員、警察、消防等と協力しながら支援している</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人及びご家族の意向を尊重し、かかりつけ医との連携を図り的確な受診ができる様支援している</p>	<p>週1回、訪問診療と訪問看護による健康管理が受けられ、受診時の内容を「往診記録」に記入し情報を共有している。家族が受診に連れて行く場合は、日々のバイタル内容等、事業所での状況を家族に説明し、医療機関に伝えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護職員や介護職員から訪問診療担当医へ状況報告し担当Ns.との連携を図り適切な看護、介護を受けられるよう支援している</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時は定期的に様子伺いに行き、Dr.、Ns.からの情報を基に退院に向けての準備をし、必要に応じて退院後の相談も行っている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>状況に応じ家族と連絡をとり、可能な範囲の支援を説明している</p>	<p>入居時に「重度化対応、看取り介護指針」と「終末期における同意または家族等の推定する本人の意思について」を説明し同意を得ている。これまでに看取りを行った事例はないが、医療処置等を必要としない看取りの希望がある場合は、医師や看護師等、関係者間で十分話し合い、支援につなげる意向である。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>ミーティングや必要に応じ対応方法、見極め方等の勉強会を行っている。初期対応については管理者のオンコールにて対応している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>各事業所ごとに防災訓練を実施し、年二回は地域の協力をいただき、有事の際に備えている</p>	<p>夜間想定を含む災害訓練を地域住民の協力をもらい、年2回実施するほか、定期的に「災害防止対策委員会」による避難経路や連絡体制の確認を行っている。食料の備蓄や非常持ち出し袋等備品も準備している</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛けひとつから入居者様の人格に配慮し、尊厳に重きを置き、入居者様を一個人として尊重するよう心掛けている	接遇やプライバシーに関する研修会を定期的実施するほか、「個人情報保護漏洩防止委員会」を年3回開催している。トイレ誘導の際は、さり気なく声をかけ、方言についても馴れ合いの言葉遣いにならないよう気を配っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様が自己決定できるように、思いが伝えられるよう声掛けをおこなっている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人の生活歴を把握しそれに近づけるような支援を行っている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自己決定できる方には好みの服を選んでいただいている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様の希望を活かしメニューに取り入れている。台所の作業や下膳など出来る方と一緒にすることもある	台拭きや下膳、もやしの根切り等調理の下ごしらえを手伝う利用者もおり、楽しく食事の準備をしている。誕生日には誕生者のリクエストに応えたり、お花見弁当やレストランでの外食、季節感ある食事の提供等、食べる楽しみを大切にしている。	

市 井		項 目	自己評価	外部評価	
自己評価	外部評価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	担当医との情報交換をおこない必要な食事量、水分量を職員に周知し支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	舌の状態によって舌ブラシで清潔に努め、義歯のかたは1日1回洗浄液を使用しているまた口腔状態によっては職員が口腔ケアを行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者様個々の排泄レベル、パターンを把握し、トイレ誘導等の排泄支援をしている	排泄の意思がある場合や座位保持が可能な場合は、トイレでの排泄を基本としており、排泄チェック表で個々の排泄パターンを把握している。これらの支援により、これまでにおむつからリハビリパンツに切り替えられた事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食材の工夫をしてメニュー内に食物繊維を豊富な食材を取り入れている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日決まった時間や順番にとられず、本人の意思を尊重し支援している また入浴剤を活用し入浴時にくつろげるよう工夫している	基本的に週3回程度、午前中に入浴しているが、希望があればいつでも（午後からでも）入浴することは可能で、シャワー浴や足浴、清拭にも随時対応している。入浴を拒まれた場合は、気分の良い時に声をかけ、入浴に誘っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	食後にソファや居室で休めるように環境作りを心掛けている 夜間は安眠できる様明るさや物音に注意している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	CMを中心に処方箋を確認し準備する 飲みにくい場合は形状の変化を図ったり、服薬時にしっかり飲み込んだか確認している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様個々の趣味特技を理解し、楽しみながら個々の能力を引き出せるよう支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族、ご本人の要望は勿論のこと、近隣の散策、ドライブ等計画的に外出支援をしている	初詣や花見、ドライブや外食ツアー等、室内ばかりではストレスにつながりやすいため、年間行事計画を立て外出している。行事で外出する際は、家族に参加を呼び掛けたり、受診やお墓参り、年末年始に家族と過ごせるよう調整している。大勢で外出する際は、法人の大型車を借りて出かけたり、歩行が難しい場合はリフト車を利用して出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居者様個々の能力に応じてお金の所持、支払いを支援している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご本人の希望により支援している</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>採光、壁紙、広さ等に留意し、さらに清掃を徹底して行い入居者様の居心地のよい空間作りを心掛けている</p>	<p>フロアの天井は高く、採光は十分にあり明るい。フロアに利用者の作品が飾られ、廊下にも季節行事の写真が掲示されており、日々の様子や過ごし方がよくわかる。トイレは3箇所あり、3枚引き戸で開口部が広く、また肘置き等の手すりも充実しており使い勝手はよい。洗面台は車椅子の利用者でも使いやすいよう、足元のスペースを広く取ってある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファや椅子等を置くなどし、気ままにくつろげる空間を工夫している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者様の使い勝手の良い家具類、日用品の配置に気をつけ、入居者様中心の居心地の良い空間作りを工夫している</p>	<p>エアコンにタンス、電動ベッドが備え付けられており、自宅からテレビやDVDプレイヤー、写真や位牌等を持ち込み、居心地良く過ごせるようにしている。また、各居室に温湿度計を備え、こまめな換気や加湿に努めている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>入居者様自身ができることはしてもらい、出来ないことは手伝いながらできるようになるよう支援し、自立に向けた生活ができる様工夫している</p>	/	/



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない